

ビッグデータ戦略戦略を採用する 5つのビジネス上の理由

IDC は、将来への対応のレベルを判定しています。「未来創造企業」は、「現在集中企業」に比べて、ビッグデータ戦略から得られるビジネスの重要な改善を実感しています。

1 | 外部のイベントへの対応時間の短縮

最新のデータを分析することで、対応を迅速にし、市場の動きをほぼリアルタイムで活用することができます。外部のイベントへの対応時間の短縮を挙げた割合は、未来創造企業が 52% だったのに対し、現在集中企業では 38% でした。

2 | 成果予測の改善

将来を見据えた企業は、必要に応じたデータを利用することで、ビジネス成果の変動に影響される企業を引き離しています。イベントの予測能力の向上を挙げた割合は、未来創造企業が 62% だったのに対し、現在集中企業では 34% でした。

3 | 全体での情報共有の改善

社内で迅速かつ容易にデータを共有できることは、組織の成果とコミュニケーションを改善するための鍵となります。情報共有の改善を挙げた割合は、未来創造企業が 56% だったのに対し、現在集中企業では 41% でした。

4 | 適切で関連性の高い情報への迅速なアクセス

適切な人が適切なタイミングでデータを入手できることにより、ワークフローがスムーズになり、ビジネスユニットの能力と求心力を高めることができます。情報共有へのアクセスの高速化を挙げた割合は、未来創造企業が 58% だったのに対し、現在集中企業では 42% でした。

5 | インフラストラクチャ管理コストの削減

将来を見据えた企業は、IT インフラストラクチャの管理を、ビジネスの変革を推進する効果的な手段と見なしています。情報管理インフラストラクチャの維持コストの削減を挙げた割合は、未来創造企業が 45% だったのに対し、現在集中企業では 24% でした。

将来を見据えた戦略はビジネスの生産性につながります

今日のデジタルライフスタイルによって生成される情報の量は驚異的ですが、重要な情報と価値のあるデータは、ビジネスの機敏性とイノベーションを促進する役割を果たします。デルのビッグデータソリューションは、インテル® プロセッサを搭載し、データの統合と分析を通じて、意味のある正確な情報の入手を支援します。Intel Inside® 効果的なソリューションを。

..... 詳細については Dell.co.jp/alldata をご覧ください。



出典：デルの IDC カスタムリサーチ、「The Future-Ready Enterprise: Driving Business Results Today While Preparing for the Challenges of Tomorrow (The Future-Ready Enterprise: 今日のビジネス推進と明日の課題への準備)」(2015年 10月)

Ultrabook、Celeron、Celeron Inside、Core Inside、インテル、Intel ロゴ、Intel Atom、Intel Atom Inside、インテル Core、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel vPro、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、vPro Inside、Xeon、Xeon Phi、および Xeon Inside は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標または登録商標です。